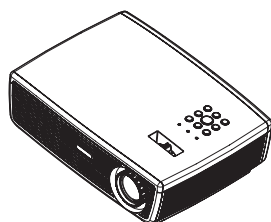


RICOH



IPSiO PJ WX2130/X2130

取扱説明書（日本国内用）



ご使用前に、この取扱説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この取扱説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず本書の「安全上のご注意」をお読みください。

もくじ	1	各種設定のしかた	34
安全上のご注意	2	メニューを使う	34
安全上のご注意	2	操作のしかた	34
表示について	2	映像調整	35
守っていただきたいこと	3	映像調整 位置	37
安全に関する本機の表示について... 15	15	表示設定	38
警告、注意のラベル位置	15	初期設定1	40
使用上のお願い	16	初期設定2	42
本製品の取り扱いに関すること	16	初期設定2 3D投影	43
お手入れに関すること	16	状態表示	44
映像の著作権について	17	故障かな・・・と思ったときは ... 45	
おことわり	17	ランプの交換	49
本書についてのご注意	17	使用済みのランプについて	50
電波障害について	18	付録	51
はじめに	19	対応信号一覧表	51
同梱品の確認	19	端子の形態	54
本体各部の名称	20	端子：アナログRGB	
入出力端子	21	(ミニDサブ15ピン)	54
本体操作部	22	仕様	55
リモコン	23	商標	56
リモコンに乾電池を入れる	25		
リモコンの有効操作範囲	25		
設置	26		
接続する	26		
コンピューター /			
ノートパソコンと接続する	26		
映像機器と接続する	27		
基本的な操作	28		
電源の入れかたと切りかた	28		
電源を入れる	28		
電源を切る	29		
インジケーターによる警告表示	30		
投写映像を調整する	31		
投写映像の位置を調整する	31		
画面の大きさとピントを調整する	32		
投写映像の大きさを調整する	32		

安全上のご注意

安全上のご注意

安全に関する注意事項を説明します。

表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例

安全表示の例です。



△ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。



⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
⊘ の中に具体的な禁止内容が描かれています。
(左図の場合は、“分解禁止”を表します)



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
● の中に具体的な指示内容が描かれています。
(左図の場合は、“アース線を必ず接続すること”を表します)

守っていただきたいこと

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

使用環境について

使用環境について守っていただきたいことを説明します。

⚠警告



- この機械の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災や感電の原因になります。

⚠警告



- 本製品とその付属品を幼児・子供の手の届かないところに設置・保管してください。幼児・子供の手の届くところに設置・保管すると、落ちてけがの原因となります。

⚠注意



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。

⚠注意



- この機器の上にものを置かないでください。置いたもののバランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因になります。

⚠注意



- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちてけがの原因になります。

安全上のご注意

⚠注意



- 雨天時、降雪時、水辺など、水がかかる恐れのある環境では使用および設置をしないでください。火災や感電の原因となります。

⚠注意



- 排気口に手や顔を近づけないでください。排気口から熱風が出るため、やけどや事故の原因になります。

⚠注意



- 紙や布などのやわらかいものの上で本機を使用しないでください。吸気口に吸着して内部に熱がこもり、本機の故障、火災ややけどの原因になることがあります。

⚠注意



- 電源コードや接続ケーブルは足を引っ掛けて転倒したりしないように配線してください。本機が落下してけがの原因となることがあります。

⚠注意



- 本機を風通しの悪い場所には設置しないでください。内部に熱がこもり火災の原因になります。

⚠注意



- 直射日光の当たる所や、熱器具などの近くなど温度が高くなる場所には、設置・保管をしないでください。熱による外装の変形や劣化、本機内部の部品へ悪影響が起こり、火災の原因となることがあります。

⚠注意



- 使用中は排気口近くに熱に弱いものを置かないでください。排気口から熱風が出るため、変形や事故の原因になります。

⚠注意



- 潮風、腐食性ガスをさけてください。また、化学反応を起こすような場所（実験室など）には設置しないでください。故障の原因になります。

⚠注意



- 本機の吸気口または排気口をふさがないでください。吸気口や排気口をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になります。

安全上のご注意

電源プラグ、電源コードの取り扱いについて

電源プラグ、電源コードの取り扱いについて守っていただきたいことを説明します。

⚠ 警告



- 電源プラグは交流100Vのコンセントに接続してください。100V以外のコンセントに接続すると火災や感電の原因になります。

⚠ 警告



- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。

⚠ 警告



- 同梱されている電源コードセットは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源コードセット以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠ 警告



- 電源プラグのアース線は、必ずアースに接続してください。アース線は必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に接続してください。また、アース線を外す際は、その前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 警告



- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

⚠ 警告



- 接続ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついている場合は使用しないでください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。接続ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついている場合は販売店に交換を依頼してください。

安全上のご注意

⚠警告



- 延長コードやテーブルタップを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードやテーブルタップの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。

⚠注意



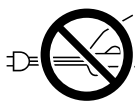
- 電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。また、接触不良になりやすい、ゆるくグラグラするコンセントで使わないでください。発熱の原因になります。電源コードは根元まで正しい向きでしっかり差し込んでください。発煙、発火、火災、感電の原因になります。

⚠注意



- 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠注意



- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

⚠注意



- 電源プラグは年に1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

⚠注意



- お手入れをするときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

安全上のご注意

本体の取り扱いについて

本体の取り扱いについて守っていただきたいことを説明します。

⚠ 警告



- 万一、煙が出ている、へんなにおいがするなど異常状態が見られるときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて販売店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

⚠ 警告



- 万一、金属、水、液体などの異物が機械内部に入ったときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて販売店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

⚠ 警告



- 近くで雷が発生しているときは、本機に触らないでください。感電の原因になります。

⚠ 警告



- 本製品に使用しているポリ袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

⚠ 警告



- 機械を落としたり、カバーなどを破損したときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて販売店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

⚠注意



- 本機の電源が入っているときはレンズキャップを使用しないでください。

⚠注意



- 本機を他の機器に積み重ねたり、本機の吸排気口の近くに他の機器を置かないでください。本機内に熱がこもり故障の原因になるほか、他の機器へ悪影響を与えることがあります。

⚠注意



- 本機を立てて使用しないでください。本機を立てて使用すると、倒れてけがの原因となります。

⚠注意



- 電源を切った直後の本体は高温（特に排気口、ランプカバー、底面など）になっていますので取り扱いにご注意ください。

安全上のご注意

機械内部の取り扱いについて

機械内部の取り扱いについて守っていただきたいことを説明します。

⚠警告



- 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。機械内部の点検・調整・修理は販売店に依頼してください。
- この機械を分解・改造しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠注意



- 機械内部の掃除を販売店に相談してください。機械内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因になります。

電池について

電池について守っていただきたいことを説明します。

⚠警告



- リモコンに使用する乾電池についての以下の注意事項を守り、安全に使用してください。電池の使い方を誤ると、電池の液もれや破裂により、火災やけがの原因になることがあります。
 - 指定された電池以外は使用しないでください。
 - 種類の違う電池・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
 - 極性（+、-）を正しく入れてください。
 - 充電式以外の電池は充電しないでください。
 - 電池は加熱したり、火や水の中に投げ込まないでください。
 - +極と-極を針金などで接続しないでください。
 - 表示されている「使用推奨期間」を過ぎた電池、使い切った電池はリモコンからすぐに取り出してください。
 - 長期間使用しないときは、電池を取り出してください。
 - 電池は乳幼児や幼児の手の届くところに置かないでください。飲み込んだり喉に詰まらせることがあります。飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

⚠警告



- 電池から液がもれたときの対処
 - もれた液が肌に付着したときは、すぐに水で洗い流し、医師に相談してください。
 - もれた液が手につかないように注意してティッシュペーパーなどで拭き取ってください。
 - 液を拭き取ったティッシュペーパーなどは、水を含ませてから燃えるゴミとして廃棄してください。

安全上のご注意

ランプについて

ランプについて守っていただきたいことを説明します。

⚠警告



- ランプ点灯中はレンズおよび通風口をのぞき込まないでください。のぞき込むと強い光により視力障害など目を傷める原因となります。特にお子様のいる環境では注意してください。

⚠警告



- ランプを交換するときは、電源を切ってから60分以上経って、本機が冷めてから交換してください。冷めないうちの交換は、内部および光源ランプモジュールは高温となっている部分があるため、やけどやけがの原因になります。また、ランプモジュールを交換する前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを抜かずに交換すると、感電の原因になります。
- 使用済みのランプは、破損しないように取り扱いに注意してください。破損するとけがの原因になります。

⚠注意



- ランプの寿命が近づくと、電源を入れたときに警告メッセージが表示されます。メッセージが表示されたらすみやかにランプを交換してください。

⚠注意



- 本機の光源には、点灯時に内部気圧が高くなる水銀ランプが使われています。このランプには以下の特性があるので、内容をよく理解して、取り扱いには十分注意してください。
 - 劣化や衝撃などによって、寿命が尽きて点灯しなくなったり、ランプが破裂して大きな音がすることがあります。
 - 寿命や破裂に至るまでの時間には、個々のランプと使用条件によってばらつきがあり、使い始めてすぐに破裂することがあります。
 - 交換時期を超えて使用すると、破裂の可能性が高くなります。
 - ランプが破裂すると、ガラスの破片が本機の内部に飛び散ったり、通風口などから外に出たりすることがあります。
 - ランプが破裂すると、ランプの内部に封入された微量の水銀ガスがガラスの粉塵と一緒に本機の通風口などから放出されることがあります。

⚠注意



- ランプが割れたときの対処
 - 万一、ランプが破裂したときは、本機の電源プラグを抜き、本機のある部屋から退室し室内を十分に換気してください。
 - ランプが破裂したときに、ガラスの粉塵や水銀ガスが目に入ったり、吸い込んだりしたと思われる場合は、すみやかに医師に相談してください。
 - 割れたガラス部品でけがをしないように注意しつつ本機の周囲を念入りに清掃してください。
 - 本機近くに置かれていた食品は捨ててください。
 - 販売店にランプの交換と本機の内部点検を依頼してください。

安全上のご注意

⚠注意



- ランプ点灯中に投写光をさえぎらないでください。投写光を長時間さえぎると投写光の当たった部分が高温になり、さえぎっている物が変質・変形したり、やけどや火災の原因となることがあります。また、反射した光でレンズ部が高温になり、本機の故障の原因になることがあります。投写を一時的に中断するときはリモコンのAVミュート機能をお使いください。また、長時間にわたって中断したいときは本機の電源を切ってください。

⚠注意



- ランプ交換には必ず新品の専用ランプを使用してください。専用ランプ以外を使用すると破損してけがの原因になります。

移動について

移動について守っていただきたいことを説明します。

⚠注意



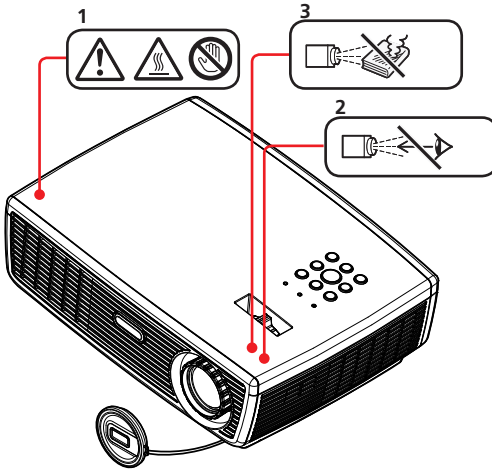
- 本機を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、すべてのケーブルをはずしたことを確認の上行ってください。コードやケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

安全に関する本機の表示について

警告、注意のラベル位置

本機には、下記に示す位置に安全にお使いいただくための、**⚠警告**、**⚠注意**のラベルまたは刻印があります。表示にしたがって安全にお使いください。

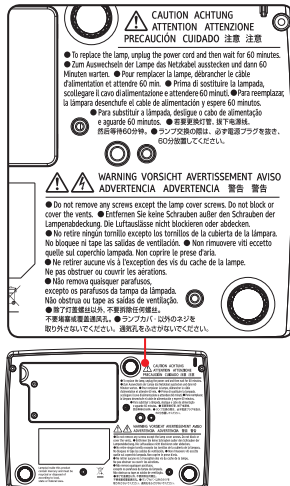
上面



1. 吸気口、排気口をふさがないこと。内部の発熱によって火災などの原因となります。
排気口、ランプカバーの近くに手や顔を近づけたり、ものや他の機器を置かないこと。やけどや変形、変色、機器の故障の原因となります。
2. 動作中はレンズをのぞかないこと。視力障害などの原因となります。
3. 動作時にレンズの前に物を置かないこと。
物が高温になり、やけどや火災の原因になる場合があります。
映像を一時的に消す場合にはリモコンまたは本体のAVミュートをお使いください。

底面

4/5



4. ランプ交換の際は、必ず電源プラグを抜き、60分放置してください。
5. ランプカバー以外のネジを取り外さないでください。通気孔をふさがないでください。

安全上のご注意

使用上のお願い

本製品の取り扱いに関すること

- 本製品を開梱したあとは、本書をよく読み、すべての操作手順およびその他の指示に従ってください。
- 極端に気温の高低差がある、あるいは湿度の高い場所で使用しないでください。
- 強力な磁場を発生する機器の近くで使用しないでください。
- 本機を持ち運ぶ際は以下の事項をお守りください。
 - 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - 端子からすべてのケーブルをはずしてください。
 - 手で持ち運ぶ場合
 - 付属のキャリーバッグを使用してください。
 - 航空機での移動の場合には、手荷物として機内に持ち込んでください。
 - 輸送する場合
本機内部にはガラス部品や精密部品が数多く使われています。衝撃による故障を防止するために次の事項をお守りください。
 - 衝撃が伝わらないように本機の周囲を緩衝材などで保護してください。
 - 同梱のキャリーバッグに入れたうえで、お買い上げの際に本機がはいっていた梱包箱や堅固なダンボール箱に入れてください。
 - 精密機器であることを告げて輸送を依頼してください。
 - 不明な点は運送業者にご相談してください。
- ゴムやビニール製品などの合成樹脂製品を長時間接触させないでください。外装が変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- 本機を長時間連続して使用すると、故障や寿命を縮める原因となります。

お手入れに関すること

- お手入れをする前に、本機の電源を切ってください。
- 本体のお手入れには中性洗剤を浸したやわらかい布を使用してください。
- ベンジン、シンナーは絶対に使用しないでください。変形、変色、塗装がはげるなどの原因となります。
- 研磨剤入り洗剤、ワックス、溶剤を使用しないでください。
- 化学ぞうきんは使用しないでください。
- 排気口や吸気口にたまったほこりなどは、定期的に取り除いてください。排気口や吸気口が目詰まりすると、本機内の空気の流れが悪くなり、故障の原因になることがあります。

映像の著作権について

次の行為は権利者に無断で行うと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがあります。

本機を使用するときは、著作者の権利を侵害しないよう注意してください。

- 営利目的で映像などを投影する行為
- 営利目的または公衆に視聴させる目的で、フリーズ、部分拡大、ズーム機能などを使用して、映像などを改変する行為
- 営利目的または公衆に視聴させる目的で、画面サイズ切り換え機能を使用して、映像などの縦横比を改変する行為

おことわり

本機に登録した内容は、必ず控えをとってください。お客様が操作をミスしたり本機に異常が発生した場合、登録した内容が消失することがあります。

本機の故障による損害、登録した内容の消失による損害、その他本機の使用により生じた損害について、当社はいっさいその責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

本製品（ハードウェア、ソフトウェア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。

本書についてのご注意

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とおお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

画面の表示内容やイラストは機種、オプションによって異なります。

本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

安全上のご注意

電波障害について

他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離す。
- テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える。
- コンセントを別にする。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

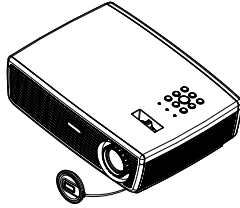
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

高調波電流規格 JIS C61000-3-2適合品

同梱品の確認

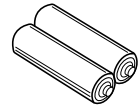
本製品には以下の同梱品が含まれます。同梱品がすべて揃っているか確認してください。万一不足しているものがあるときは、すぐにお買い上げの販売店に連絡してください。



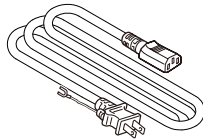
プロジェクター本体
(レンズキャップ付き)



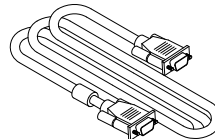
リモコン



リモコン用
単四形乾電池 (2本)



電源コード



RGBケーブル



キャリーバッグ

補足

❖ 安心3年モデルには、さらに以下のものが含まれます。

- 保守サービス証書 (2年)

- 保証書
- お客様登録はがき
- マイバンクQA登録票
- 個人情報確認書
- サービス連絡先シール

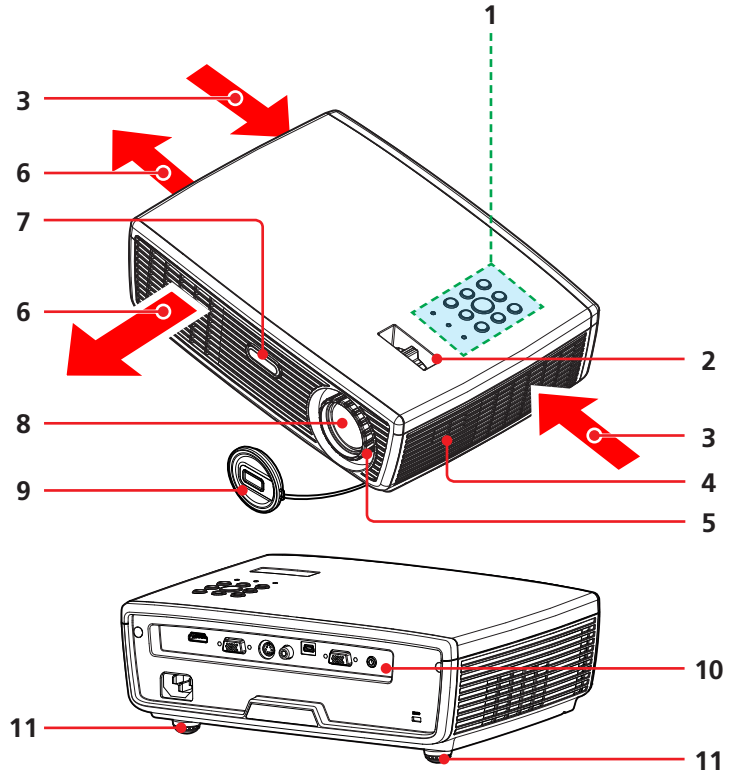
説明書：

- 取扱説明書
- CD-ROM 取扱説明書

注)

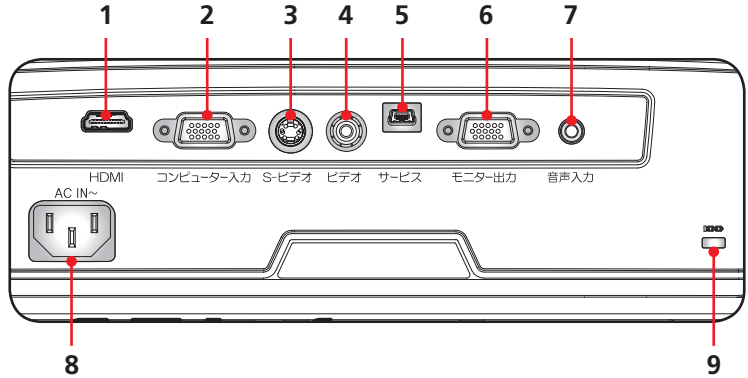
CD-ROM に収録されている日本語以外の取扱説明書は、日本向け製品の取扱説明書ではありません。一部内容が日本向けのものとは異なります。ご了承ください。

本体各部の名称



1. 本体操作部
2. ズームレバー
3. 吸気口
4. スピーカー
5. フォーカスリング
6. 排気口
7. リモコン受光部
8. レンズ
9. レンズキャップ
10. 入出力端子
11. アジャスタブルフット

入出力端子

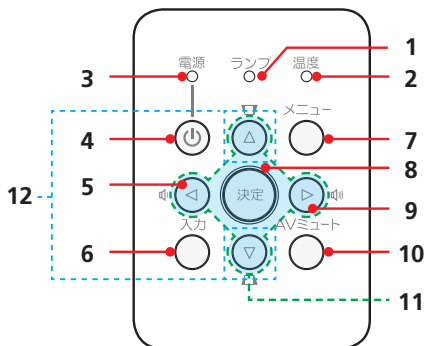


1. HDMI 端子
2. コンピューター入力端子
3. S-ビデオ入力端子
4. ビデオ入力端子
5. サービス用端子
6. モニター出力端子
7. 音声入力端子
8. AC IN ソケット
9. 盗難防止ロック穴

補足

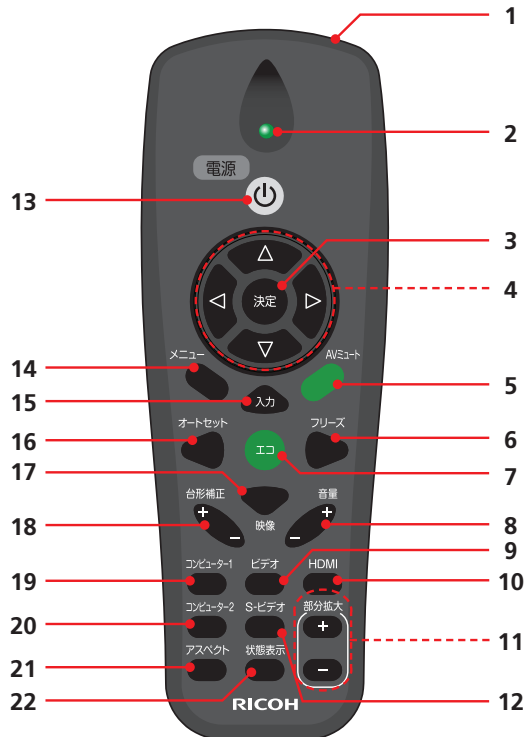
❖ サービス用端子は、販売店や管理者用の端子です。詳しくは販売店にお問い合わせください。

本体操作部



1	ランプインジケータ	ランプの状態を表示します。
2	温度インジケータ	内部の温度状態を表示します。
3	電源インジケータ	電源の状態を表示します。
4	電源	「電源の入れかたと切りかた」の章を参照してください。(28～29ページ参照)
5	音量-	スピーカーの音量を下げます。
6	入力	入力信号を、コンピューター(コンポーネント)、ビデオ、S-ビデオ、HDMIの順に切り替えます。
7	メニュー	調整用のメニューを表示したり、メニューをひとつ前の表示に戻したりします。(34ページ参照)
8	決定	調整する項目を選んだり、調整した値を確定したりします。
9	音量+	スピーカーの音量を上げます。
10	AVミュート	音声と映像を一時的に消します。もう一度押すとともに戻ります。
11	4方向選択キー	▲、▼、◀、▶で項目の選択や調整をします。
12	台形補正 ◻◻	▲、▼で本機の傾きによって起こる台形歪みの補正をします。

リモコン



1	リモコン送信部	信号を送信します。
2	インジケータ	
3	決定	サブメニューで、項目を選択したり、調整した値を確定したりします。
4	4方向選択キー	▲、▼、◀、▶で項目の選択や調整をします。
5	AV ミュート	音声と映像を一時的に消します。もう一度押すともとに戻ります。
6	フリーズ	映像を静止します。もう一度押すともとに戻ります。
7	エコ	ランプの電力を切り替えます。エコを選ぶと消費電力が低くなり、ランプ寿命も長くなります。

はじめに

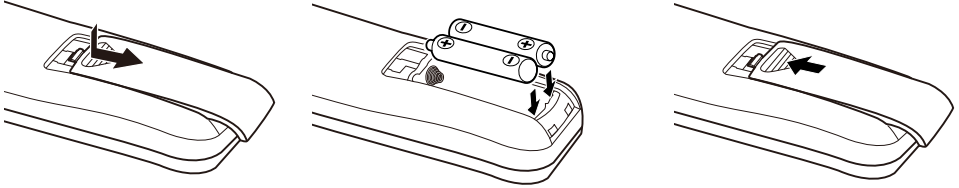
補足

※ [部分拡大]機能は「アスペクト」が「リアル」に設定されているときは使用できません。

8	音量+ / -	スピーカーの音量を調整します。
9	ビデオ	入力信号を、ビデオ入力に切り換えます。
10	HDMI	入力信号を、HDMI 入力に切り換えます。
11	部分拡大	表示されている画面の一部を拡大表示します。
12	S-ビデオ	入力信号を、S-ビデオ入力に切り換えます。
13	電源	「電源の入れかたと切りかた」の章を参照してください。(28～29ページ参照)
14	メニュー	調整用のメニューを表示します。また、サブメニューが表示されているときに、ひとつ前の画面に戻ります。(34ページ参照)
15	入力	入力信号を、コンピューター (コンポーネント)、ビデオ、S-ビデオ、HDMI の順に切り換えます。
16	オートセット	コンピューターからの RGB 信号を自動調整します。
17	映像	映像モードを切り換えます。
18	台形補正+ / -	本機の傾きによって起こる台形歪みの補正をします。
19	コンピューター 1	入力信号を、コンピューター端子に入力された、RGB/ コンポーネント信号に切り換えます。
20	コンピューター 2	本機では、[コンピューター 1] ボタンと同じ働きをします。
21	アスペクト	表示する画面のアスペクト比を切り換えます。
22	状態表示	本機の状態を示す画面を表示します。(44 ページ参照)

リモコンに乾電池を入れる

- ① 電池カバーを強く押しながらスライドさせて取り外します。
- ② 新しい単四形乾電池を入れます。乾電池の極性(+/-)が逆になっていないか確認します。
- ③ カバーを元どおりにカチッと音がするまで閉めます。異なる種類の乾電池を使用したり、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用したりしないでください。

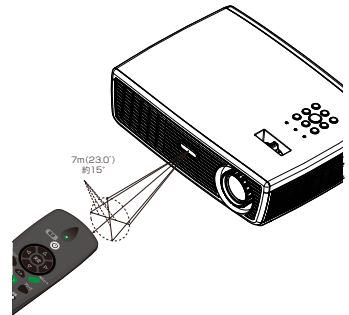


安全に使用するため、以下のことに注意してください：

- 単四形乾電池を使用してください。
- 水やほかの液体がかからないようにしてください。
- リモコンを湿気の高い場所や高温になる場所に置かないでください。
- リモコンを落とさないようにしてください。
- リモコンの中で乾電池が液漏れしたときは、注意しながらケースをきれいに拭き、新しい乾電池を入れてください。
- 種類の異なる乾電池を混ぜて使用しないでください。液漏れが発生する危険があります。
- お住まいの地域の規則に従って使用済みの乾電池を廃棄してください。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出してください。
- リモコン受光部に太陽光や蛍光灯などの強い光があたると、リモコンが動作しないことがあります。

リモコンの有効操作範囲

ボタンを押すときに、リモコンを本機（リモコン受光部）に向けて操作します。リモコンの最大操作範囲は本機の前方向約 7m (23.0 フィート)、角度は± 15°です。

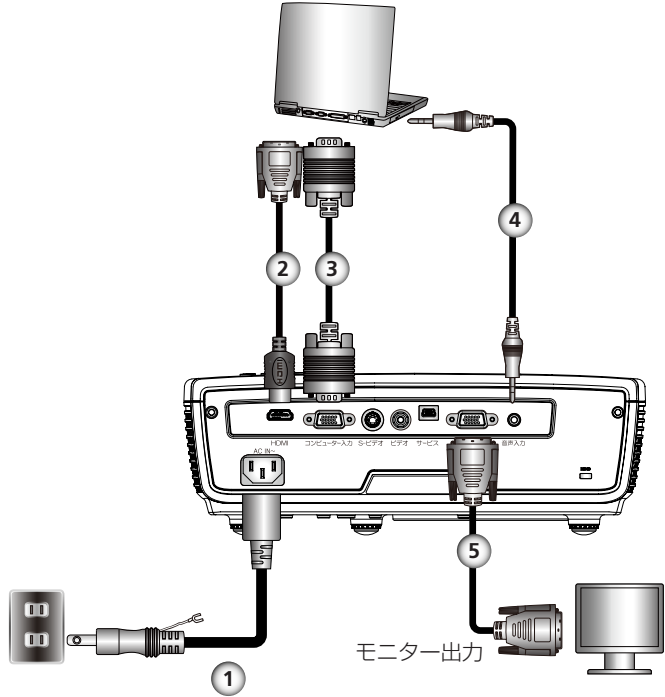


接続する

コンピューター/ノートパソコンと接続する

補足

❖ 電源プラグがきちんと本機の AC IN ソケットとコンセントの両方に差し込まれているか確認します。



- | | |
|--------|----------------|
| 1..... | 電源コード (同梱品) |
| 2..... | HDMI/DVI ケーブル |
| 3..... | RGB ケーブル (同梱品) |
| 4..... | 音声ケーブル |
| 5..... | モニター出力ケーブル |

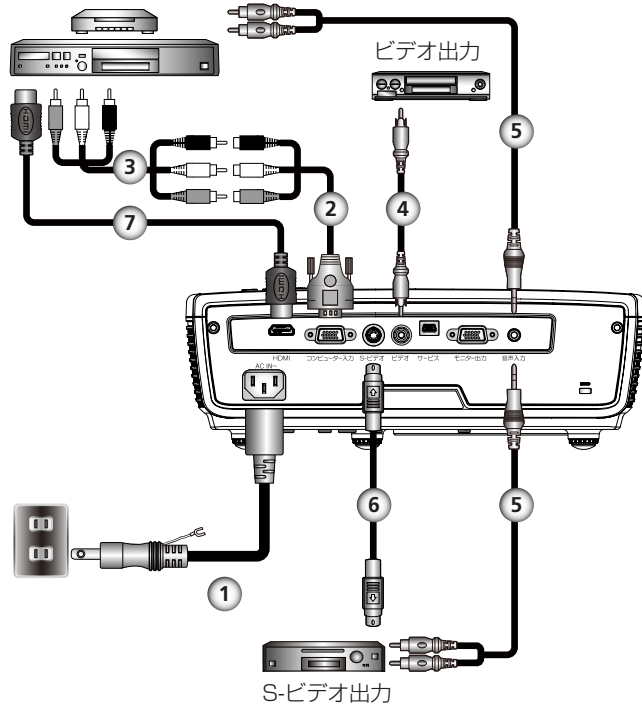
- ❖ 信号を正しく表示するために、接続するコンピューターの表示モード（解像度およびリフレッシュレート）が、本機が対応しているものであることを確認してください。(51～53 ページ参照)
- ❖ 性能を保つため、必ず同梱されているケーブルを使用してください。

映像機器と接続する

補足

❖ 電源プラグがきちんと本機の AC IN ソケットとコンセントの両方に差し込まれているか確認します。

DVDプレーヤー、デジタル放送チューナー、CATVチューナーなど



- | | |
|--------|--------------------|
| 1..... | 電源コード (同梱品) |
| 2..... | コンポーネント - RGB ケーブル |
| 3..... | コンポーネントビデオケーブル |
| 4..... | ビデオケーブル |
| 5..... | 音声ケーブル |
| 6..... | S-ビデオケーブル |
| 7..... | HDMI ケーブル |

基本的な操作



電源の入れかたと切りかた

電源を入れる

警告：ランプ点灯中はレンズをのぞき込まないでください。のぞき込むと強い光により視力障害など目を傷める原因となります。

注意：本機の吸気口または排気口をふさがないでください。吸気口や排気口をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因となります。

注意：排気口、ランプカバーの近くや本体の下に手や顔を近づけたり、物を置かないでください。けがや機器の故障の原因となります。

注意：投写を中断するときはレンズからの投写光をさえぎらないでください。強い光によって高温になり、火災の原因となることがあります。AVミュート機能をお使いください。

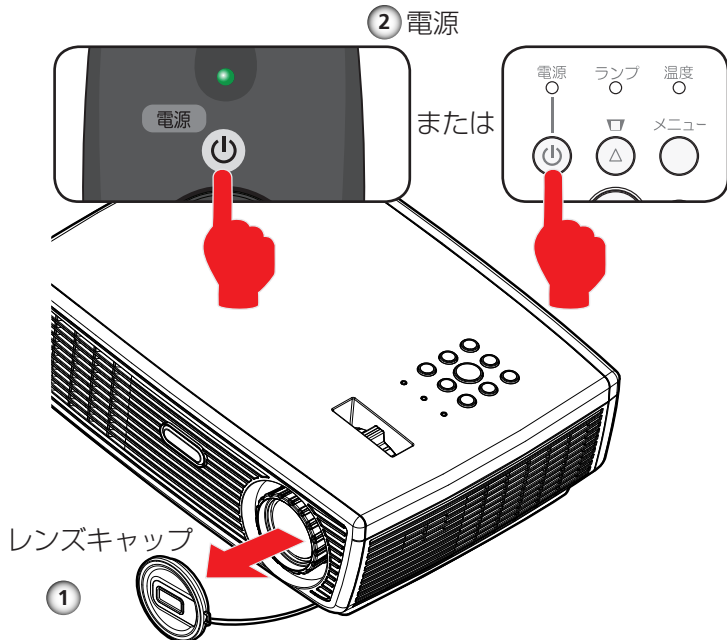
補足

※同時に複数の信号源と接続しているときは、本体またはリモコンの[入力]を押すか、リモコンの[コンピューター]、[ビデオ]、[S-ビデオ]、[HDMI]を押して入力を切り替えます。

補足

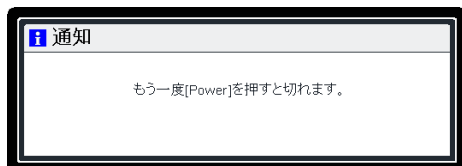
※本機の電源を最初に入れてから信号源の電源を入れます。

1. 電源コードと信号ケーブルがしっかりと接続されているか確認します。電源インジケータが赤色に点灯します。
2. レンズキャップを外します。①
3. 本体操作部またはリモコンの[電源]を押して、ランプを点灯します。② 電源インジケータが青色に点滅します。約5秒後にスタート画面が表示されます。スタート画面が消えると、電源インジケータが青色に点灯します。購入後はじめて使用するときは、スタート画面のあとに言語メニューが表示されます。(41 ページ参照)
4. 信号源(コンピューター、ノートパソコン、ビデオプレーヤーなど)の電源を入れます。本機が自動的に信号を検出します。



電源を切る

1. [電源] を押すと、画面に以下のメッセージが表示されます。



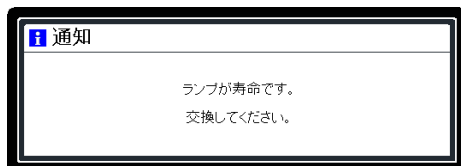
2. もう一度 [電源] を押すと、ランプが消えます。
3. 冷却ファンはランプ消灯後約 60 秒間作動し、この間電源インジケータが赤色に点滅します。冷却が終了するとランプの点滅が停止し、本機はスタンバイモードに入ります。本機の電源を再度入れるときは、本機の冷却が完了し、スタンバイモードに入るまでお待ちください。スタンバイモードに入ったら、本機の電源を入れることができます。
4. 電源コードをコンセントと本機から抜きます。

インジケーターによる警告表示

- ❖ [温度] インジケーターが赤色に点灯したときは、本機の内部が過熱しています。以下のメッセージが表示されたあとに電源が自動的に切れます。



- ❖ [ランプ] インジケーターが赤色に点灯して電源を入れたときに以下のメッセージが表示されたときは、ランプが寿命に近づいたことを知らせています。すぐにランプを交換するか、お近くの販売店に連絡してください。



- ❖ [温度] インジケーターが赤色に点滅（0.5 秒点灯、0.5 秒消灯）して以下のメッセージが表示されたときは、冷却ファンに異常があります。すぐに本機の使用を止めて、電源コードをコンセントから抜き、お近くの販売店に連絡してください。



投写映像を調整する

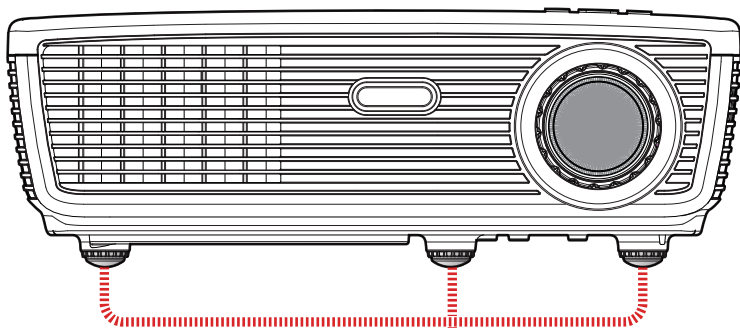
投写映像の位置を調整する

本機のアジャスタブルフットを調整して、投写映像の上下位置や傾きを調整できます。

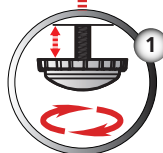
1. ❶ に示すように、アジャスタブルフットを回して設置角度を調整します。

補足

❖ アジャスタブルフットを回転させると、約8度まで本機の前部を上げられます。



フロントアジャスタブルフット
最大長さ：約 20 mm

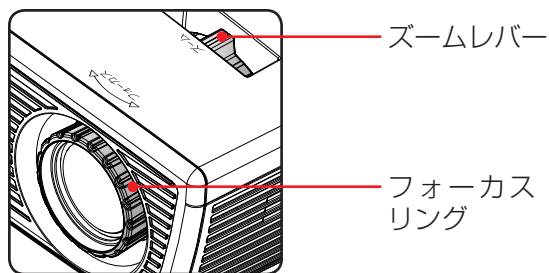


基本的な操作

画面の大きさとピントを調整する

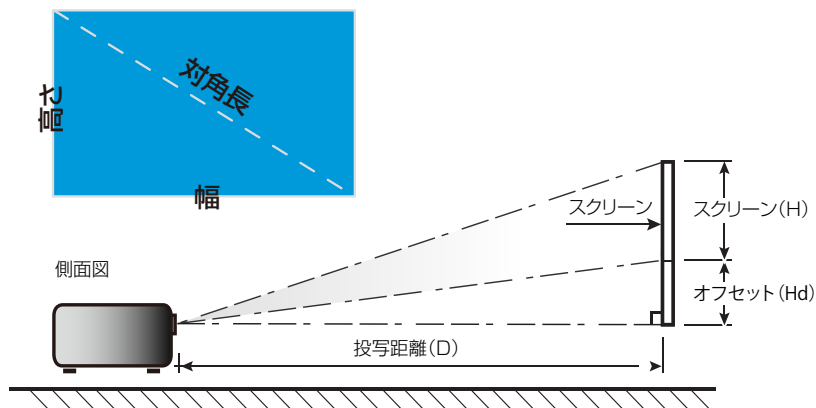
ズームレバーを回して投写画面の大きさを調整します。映像のピントを合わせるには、映像が鮮明になるまでフォーカスリングを回します。

- ▶ IPSiO PJ X2130 : ピントが合う距離は 1.2~13.1m です。
- ▶ IPSiO PJ WX2130 : ピントが合う距離は 1.0~11.0m です。



投写映像の大きさを調整する

- ▶ IPSiO PJ X2130 : 投写映像サイズ 0.7~7.6m (30~300型)
- ▶ IPSiO PJ WX2130 : 投写映像サイズ 0.7~7.6m (30~300型)



IPSiO PJ X2130

画面サイズ (型)	画面サイズ 幅×高さ		投写距離 (D)		オフセット (Hd)
	(m)		(m)		
	幅	高さ	広角	望遠	(m)
30	0.61	0.46	1.2	1.3	0.05
40	0.81	0.61	1.6	1.8	0.07
60	1.22	0.91	2.4	2.6	0.10
70	1.42	1.07	2.8	3.1	0.12
80	1.63	1.22	3.2	3.5	0.13
90	1.83	1.37	3.6	3.9	0.15
100	2.03	1.52	4.0	4.4	0.17
120	2.44	1.83	4.8	5.2	0.20
150	3.05	2.29	5.9	6.6	0.25
180	3.68	2.74	7.1	7.9	0.30
250	5.08	3.81	9.9	10.9	0.42
300	6.10	4.57	11.9	13.1	0.50

IPSiO PJ WX2130

画面サイズ (型)	画面サイズ 幅×高さ		投写距離 (D)		オフセット (Hd)
	(m)		(m)		
	幅	高さ	広角	望遠	(m)
30	0.65	0.40	-	1.0	0.05
40	0.86	0.54	1.2	1.3	0.07
60	1.29	0.81	1.8	2.0	0.10
70	1.51	0.94	2.1	2.3	0.12
80	1.72	1.08	2.4	2.7	0.13
90	1.94	1.21	2.7	3.0	0.15
100	2.15	1.35	3.0	3.3	0.17
120	2.58	1.62	3.6	4.0	0.20
150	3.23	2.02	4.5	5.0	0.25
180	3.88	2.42	5.4	6.0	0.30
250	5.38	3.37	7.5	8.3	0.42
300	6.46	4.04	9.0	10.0	0.50

❖ 画面サイズは、フルサイズの映像を台形補正なしで投写したときのおよその値です。

各種設定のしかた

メニューを使う

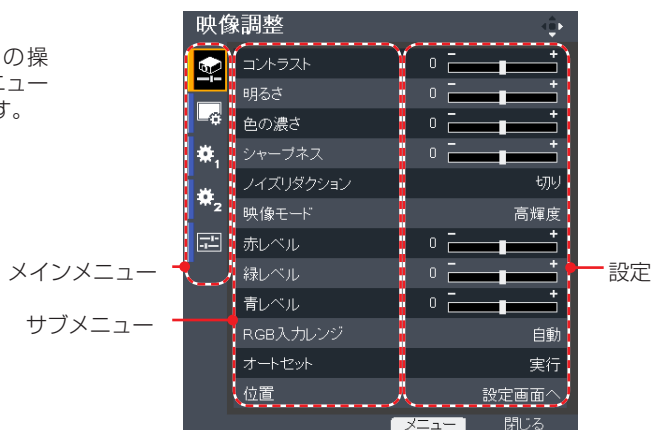
メニューを表示させて、映像などの調整や、各種設定の変更ができます。

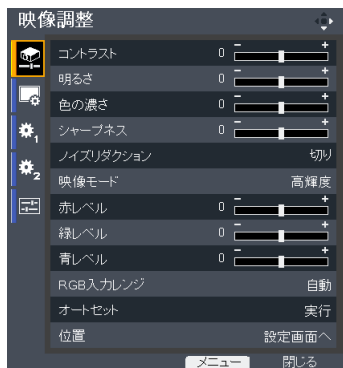
操作のしかた

1. メニューを開くには、本体またはリモコンの [メニュー] を押します。
2. メニューが表示されたら、▲ ▼キーでメインメニューの項目のいずれかを選択します。調整したい項目が表示されたら、▶キーを押してサブメニューに入ります。
3. ▲ ▼キーでサブメニューの中から調整したい項目を選択し、[決定] を押します。サブメニューの項目の色が変わり調整できる状態になり、▲ ▼または◀ ▶キーで調整または設定を変更します。調整が終了したら、もう一度 [決定] を押すとほかの項目が調整できます。
4. 「設定画面へ」とあるときは、[決定] を押すと新たなサブメニューが表示されます。調整後、[メニュー] を押してこのサブメニューを閉じます。
5. 設定を調整したあと、[メニュー] を押してメインメニューに戻ります。
6. [メニュー] をもう一度押すとメニューが消えます。

補足

❖ 10 秒間ボタンの操作をしないと、メニューは自動的に消えます。





映像調整

コントラスト

映像のコントラストを調整します。

- ▶ ◀ でコントラストを弱くします。
- ▶ ▶ でコントラストを強くします。

明るさ

映像の明るさを調整します。

- ▶ ◀ で映像を暗くします。
- ▶ ▶ で映像を明るくします。

色の濃さ

映像の色の濃さを調整します。

- ▶ ◀ で映像の色を薄くします。
- ▶ ▶ で映像の色を濃くします。

補足

❖ 「シャープネス」および「色の濃さ」機能はビデオモード以外では使用できません。

シャープネス

映像のシャープネスを調整します。

- ▶ ◀ でシャープネスを弱くします。
- ▶ ▶ でシャープネスを強くします。

ノイズリダクション

映像のノイズを除去するかどうかを設定します。

映像モード

映像モードを選びます。▲ または ▼ で項目を選択します。

- ▶ 高輝度：明るさを重視したモードです。
- ▶ 標準：明るさと色の再現性のバランスがとれたモードです。
- ▶ ナチュラル：色の再現性を重視したモードです。

各種設定のしかた

補足

❖ 「RGB 入力レンジ」は HDMI 入力以外では使用できません。

赤レベル

◀ または ▶ で信号レベルを調整します。

緑レベル

◀ または ▶ で信号レベルを調整します。

青レベル

◀ または ▶ で信号レベルを調整します。

RGB入力レンジ

HDMI 映像信号入力レンジを選択します。

- ▶ 自動：RGB 入力レンジを自動的に検出します。
- ▶ 標準：標準的な HDMI 映像機器と接続するときを選びます。
- ▶ フル：コンピューターからの信号や、フルレンジに設定された映像機器からの信号を入力するときを選びます。

オートセット

コンピューター信号を、自動的に最適に調整します。

位置

次ページを参照してください。



映像調整 / 位置

補足

❖「位置」はアナログ RGB 信号以外では調整できません。

サンプリング位相

◀ または ▶ で映像のちらつきをなくします。

サンプリング周波数

◀ または ▶ で細かい線を表示したときの周期的な模様や、ちらつきをなくします。

水平位置

- ▶ ◀ で映像を左に移動させます。
- ▶ ▶ で映像を右に移動させます。

垂直位置

- ▶ ◀ で映像を下に移動させます。
- ▶ ▶ で映像を上を移動させます。

各種設定のしかた



表示設定

アスペクト

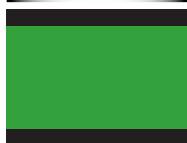
画面のアスペクト比を選択します。

- ▶ ノーマル：入力信号のアスペクト比を検出して、そのまま画面に合わせて表示します。信号によっては、正しいアスペクトで表示されないことがあります。そのときはほかのアスペクトを選んでください。
- ▶ フル：映像を画面全体に合わせて拡大して表示します。本機の画面解像度は以下のようになっています。
 - IPSiO PJ X2130：1024 × 768
 - IPSiO PJ WX2130：1280 × 800
- ▶ 16：9：アスペクト比 16:9 で画面の中心に入力映像を表示します。
- ▶ ズーム：ビデオ、S-ビデオおよび Y/PB/PR (480/576) 入力映像に対してだけ使用できます。
 - IPSiO PJ X2130：16:9 信号の 4:3 中心部を表示します。(入力信号が 4:3 信号のとき、表示される映像は横に引き伸ばされます。)
 - IPSiO PJ WX2130：4:3 信号の 16:9 の中心部を表示します。(レターボックス信号用。入力信号が 16:9 信号のとき、表示される映像は縦に引き伸ばされます。)
- ▶ リアル：入力映像を映像信号の解像度そのままに表示します。リアル表示は Y/PB/PR、ビデオおよび S-ビデオ入力映像では使用できません。

IPSiO PJ
X2130



IPSiO PJ
WX2130



各種設定のしかた

表示位置 (IPSiO PJ X2130のみ)

画面サイズの設定が「16:9」表示のとき、投写映像を上下に移動させます。

壁色補正モード

壁の色に応じて、最適な画面を表示します。壁の色を「切り」、「ホワイトボード」、「ベージュ」、「黒板 (緑)」、「グレー」から選択します。

無信号背景

入力信号がないときに表示する画面を「ロゴ」、「青」、「なし」から選択します。

アイコン表示

信号を切り換えたときなどに表示されるアイコンの表示を設定します。「入り」を選択するとアイコンを表示します。「切り」を選択するとアイコンを表示しません。

スタート画面

電源を投入したときに表示されるスタート画面を設定します。設定を変更したときは、次に本機の電源を入れたときに有効になります。

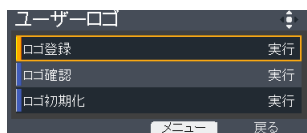
- ▶ 入り：スタート画面を表示します。
- ▶ 切り：スタート画面は表示されません。

ユーザーロゴ

スタート画面や、「無信号背景」で「ロゴ」に設定したときに表示される画面を、現在表示されている画面に変更できます。変更するには、「ロゴ登録」を実行してください。

「ロゴ確認」を実行すると、現在登録されているロゴ画面を表示します。

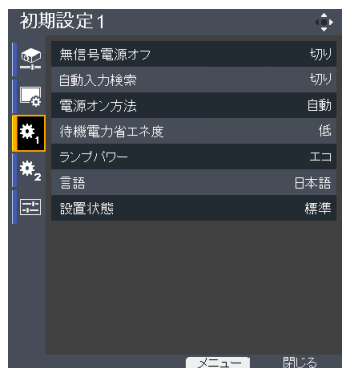
「ロゴ初期化」を実行すると、工場出荷時のロゴに戻ります。



補足

❖映像の切り出しに最大90秒かかります。かかる時間は入力信号の解像度によって異なります。

各種設定のしかた



初期設定 1

無信号電源オフ

本機に入力されている信号が無信号になってから、自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。「切り」、「5分」、「10分」、「20分」、「30分」から選択します。

自動入力検索

「入り」にすると、信号がなくなり無信号になると自動的にほかの信号を検索します。「切り」にすると、現在の信号のまま信号が入力されるのを待ちます。このとき、次の信号に切り換えるには、本体またはリモコンの[入力]ボタンを押します。信号が入力されていない入力も選べます。

補足

❖「電源オン方法」が「自動」に設定されていると、停電から復帰後に本機の電源が自動的に入ります。ご注意ください。

電源オン方法

「手動」に設定すると、電源ボタンが押されたときに電源が入ります。
「自動」に設定すると、電源コードを接続したときに電源が入ります。

待機電力省エネ度

- ▶ 高：「高」を選択すると、スタンバイ時の消費電力が0.5W以下に低減されます。スタンバイ時にモニター出力端子は使えません。
- ▶ 低：「低」を選択すると、通常のスタンバイモードに戻り、モニター出力端子が使えるようになります。

ランプパワー

- ▶ エコ：「エコ」を選択すると、ランプ電力が低くなり、ランプの寿命が延びます。
- ▶ 標準：標準モードでランプを使用します。

各種設定のしかた

言語

メニューの表示言語を選択します。[決定]を押してサブメニューに入り、▲、▼、◀、▶キーで言語を選択します。[決定]を押して選択を確定します。



設置状態

▶ 標準

工場出荷時の初期設定です。映像が画面に正立して投写されます。

▶ 背面

映像の左右が反転して投写されます。透過スクリーンの裏側に設置するときを使用します。

▶ 天吊り

映像の上下が反転して投写されます。天井に逆さに吊って設置するときを使用します。

▶ 背天吊

映像の上下左右が反転して投写されます。透過スクリーンの裏側から天井に逆さに吊って設置するときを使用します。

各種設定のしかた



初期設定2

高地モード

「入り」を選択すると、冷却ファンの回転が速くなります。本機を標高 750m 以上で使用する場合は、「入り」を選択してください。

キーロック

「入り」にすると、[電源] キー以外の本体操作部はロックされ使用できなくなります。リモコンを使用すれば本機を操作できます。「切り」にすると、本体操作部を再び使用できます。

クローズドキャプション

本機は、クローズドキャプションに対応しています。これは、米国の FCC (Federal Communications Commission) の規定に準拠した字幕機能のことです。

- ▶ 切り：「切り」を選択するとクローズドキャプション機能が無効になります。
- ▶ CC-1：アメリカ英語を含む CC-1 言語に設定します。
- ▶ CC-2：スペイン語、ポルトガル語、ドイツ語、デンマーク語を含む CC-2 言語に設定します。(ユーザーのテレビチャンネルによります。)

FCC の規定に準拠した放送が実施されていない地域では、放送形式、信号形式が異なるので対応できないことがあります。

録画状態や信号の受信状態によって、正しく表示されないことがあります。

接続機器側の操作 (放送番組のチャンネル切換えやビデオの特殊再生) によっては、キャプションがしばらくの間、画面に残ることがあります。

「クローズドキャプション」は、ビデオ、S-ビデオの入力時に有効です。

3D投影

次ページを参照してください。

すべてを初期化

調整と設定を工場出荷時の初期設定値に戻します。



初期設定2 / 3D投影

補足

3D投影

- ▶ 切り：通常の映像（2D 映像）を表示するときに選択します。
- ▶ 入り：3D 映像を表示するときに選択します。

❖ 3D 映像を見るには、3D 対応の映像機器、3D コンテンツおよび **DLP Link** アクティブシャッター方式 3D メガネが必要です。本機の HDMI 入力は、HDMI で規定されている 3D 信号には対応していません。3D 対応の Blu-ray プレーヤーなどの 3D 対応 HDMI 機器に直接接続しても、3D 映像を見ることはできません。

DLP Link

- 「入り」を選ぶと、DLP Link 方式の 3D メガネ用の映像を表示します。別売りオプションの 3D メガネは DLP Link 方式の 3D メガネです。「DLP Link」を「入り」にして使用してください。

L/R反転

- ▶ ノーマル：通常は「ノーマル」を選択します。
- ▶ 反転：3D 映像が正常に見えなかったり、不自然なときは、「反転」を選択して 3D メガネとの同期を反転させます。

❖ 「L/R 反転」は DLP Link 方式の 3D メガネを使用した 3D 投影時にもみ使用できます。

❖ 「L/R 反転」の設定は、映像の接続状態によっては、3D 映像の再生を再開したときに変更する必要があることがあります。

各種設定のしかた



状態表示

入力

現在入力されている信号を表示します。

解像度

解像度（ドット）を表示します。

映像モード

映像モードを表示します。

ランプ時間

ランプの使用時間を表示します。

トータル時間

本機の総使用時間を表示します。

ランプリセットカウント

本機のランプを交換した回数を表示します。

FWバージョン

内部に使用されているソフトウェアのバージョンを表示します。

故障かな・・・と思ったときは

本機のトラブルが発生したら、次の情報を参照してください。
症状が改善されないときは、販売店まで連絡してください。

症状：画面に映像が出ない

- ▶ すべてのケーブルや電源の接続に間違いがなく、「設置」の章で示されたようにしっかりと接続されているか確認します。
- ▶ コネクターのピンが曲がっていたり壊れたりしていないか確認します。
- ▶ ランプがしっかりと取り付けられているか調べます。「ランプの交換」の章を参照してください。
- ▶ レンズキャップを外してあるか、本機の電源が入っているか確認します。
- ▶ [AV ミュート] 機能が働いていないか確認します。

症状：映像が部分的に映る、スクロールするまたは正常に映らない

- ▶ リモコンの [オートセット] を押します。
- ▶ コンピューターを使用しているとき：
画像の解像度を調整してください。設定方法は各 OS のヘルプで確認してください。
- ▶ ノートパソコンを使用しているとき：
 1. 最初に、上記の手順に従ってコンピューターの解像度を調整します。
 2. トグル出力設定を押します。例：[Fn] + [F3]

PANASONIC、NEC → Fn + F3
HP、SHARP、TOSHIBA → Fn + F5
IBM、SONY → Fn + F7
DELL、EPSON → Fn + F8
FUJITSU → Fn + F10
APPLE → F7

- ▶ 解像度の変更がうまくいかなかったり、モニターがフリーズしたりするときは、本機を含めたすべての機器を再起動します。

故障かな・・・と思ったときは

症状：映像が安定しない、またはちらつく

- ▶ 「サンプリング位相」の調整または「サンプリング周波数」の調整をします。詳細は「映像調整 | 位置」の章を参照してください。
- ▶ コンピューターの表示モードを確認して再設定します。本機と互換性のあるモードを選んでください。

症状：映像のピントが合わない

- ▶ フォーカスリングを調整してください。
- ▶ 投写スクリーンまでの距離が所要の範囲内であることを確認します。(32～33 ページを参照)

症状：16:9 の DVD を表示するとき映像が引き伸ばされる

リモコンの [アスペクト] キーやメニューから「アスペクト」を変更し、適切なアスペクト比で映像を表示します。

症状：映像が小さすぎる、または大きすぎる

- ▶ 本機上部のズームレバーを調整します。
- ▶ 本機をスクリーンに近づけるか、スクリーンから離します。
- ▶ リモコンの [アスペクト] ボタンまたは本体操作部の [メニュー] ボタンを押して、「表示設定」→「アスペクト」を選択し、別の設定を試します。

症状：映像が反転する

- ▶ メニューから「初期設定 1」→「設置状態」を選択して調整します。

症状：ランプが切れる、またはボンという音がする

- ▶ ランプが寿命になると、ランプが切れてボンという大きな音がすることがあります。このとき、ランプモジュールが交換されるまで、本機の電源は入りません。「ランプの交換」の手順に従ってランプを交換してください。

故障かな・・・と思ったときは

症状：インジケータの点灯によるメッセージ

メッセージ	電源 インジケータ	温度 インジケータ	ランプ インジケータ
	(赤 / 青)	(赤)	(赤)
スタンバイ	 (赤)		
ノーマル (電源オン)	 (青)		
作動 (ウォーミングアップ)	青点滅 (0.5 秒)		
電源オフ (冷却)	赤点滅 (0.5 秒)		
温度エラー	 (青)		
温度エラー (スタンバイ時)	 (赤)		
ランプエラー	 (青)		
ランプエラー (スタンバイ時)	 (赤)		
ファンエラー	 (青)	点滅	
ファンエラー (スタンバイ時)	 (赤)	点滅	
その他エラー	 (青)		点滅
その他エラー (スタンバイ時)	 (赤)		点滅

補足

点灯→
消灯→

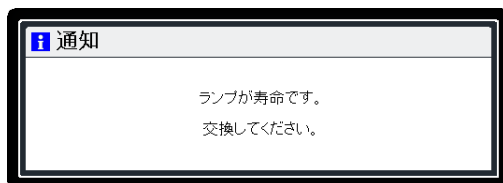
故障かな・・・と思ったときは

症状：メッセージ通知

- ▶ 温度エラー—本機の内部の温度が過熱しています。使用環境を確認してください。



- ▶ ランプの交換—ランプの寿命に近づいています。ランプをすぐに交換できるように準備してください。

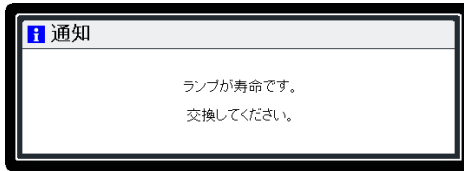


- ▶ ファンエラー—冷却ファンが作動していません。



ランプの交換

ランプが寿命になると、電源を入れたときに次のような警告メッセージが表示されます。



警告：やけどを回避するために、ランプを交換する前に本機が冷えるまで必ず 60 分以上待ってください。

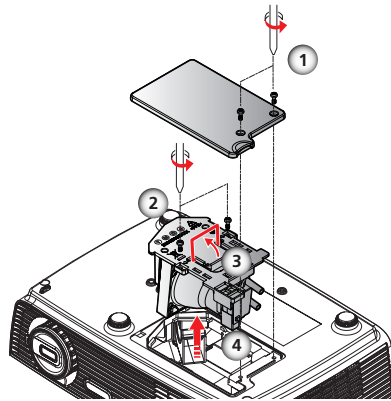


警告：ランプモジュールを落としたり、ランプのガラス面に触れたりしないでください。ランプを落したとき、ランプのガラス部品が砕けてけがの原因となることがあります。

警告：安全のため、必ず指定されたランプ (Type2) を使用してください。

注意：万一、ランプが破裂したときは、割れたガラスの破片だけがをしないように取り扱いに注意し、販売店に修理を依頼してください。

このメッセージが表示されたら、ランプをすみやかに交換してください。ランプを交換するときは、電源を切ってから 60 分以上待って本機が冷えたことを確認します。



ランプの交換手順：

1. [電源] を押して本機の電源を切ります。
2. 本機が冷えるまで 60 分以上待ちます。
3. 電源コードを抜きます。
4. ドライバーを使用して、ランプカバーのねじ 2 個を緩めます。❶
5. 押し上げてランプカバーを取り外します。
6. ランプモジュールのねじ 2 個を緩め ❷、ランプの取っ手をおこします。❸
7. ランプモジュールを引き出します。❹
8. 新しいランプモジュールを取り外しの手順と逆の手順で取り付けます。
 - ❖ ランプ時間のリセット方法については、ランプの取扱説明書を参照してください。

ランプの交換

使用済みのランプについて

本機のランプには環境に有害な微量の無機水銀が使われています。使用済みのランプは破裂させないように取り扱いに注意し、地方自治体の条例にしたがって処理するか、または販売店に連絡してください。

対応信号一覧表

A. コンピューター入力				
(1) RGBアナログ—PC信号				
モード	解像度	垂直周波数/リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (kHz)	クロック (MHz)
VGA	640×480	60	31.47	25.18
	640×480	72	37.86	31.50
	640×480	75	37.50	31.50
	640×480	85	43.27	36.00
	640×480	119.51	61.61	—
SVGA	800×600	56	35.20	36.00
	800×600	60	37.88	40.00
	800×600	72	48.08	50.00
	800×600	75	46.88	49.50
	800×600	85	53.67	56.25
XGA	800×600	119.85	77.20	—
	1024×768	60	48.36	65.00
	1024×768	70	56.48	75.00
	1024×768	75	60.02	78.75
	1024×768	85	68.67	94.50
SXGA	1024×768	119.804	98.80	—
	1152×864	70	63.80	94.50
	1152×864	75	67.50	108.00
	1152×864	85	77.10	121.50
	1280×1024	60	63.98	108.00
QuadVGA	1280×1024	72	77.90	134.60
	1280×1024	75	79.98	135.00
	1280×1024	85	91.15	157.50
	1280×960	60	60.00	108.00
	1280×960	75	75.00	126.00
SXGA+	1400×1050	60	65.32	121.75
UXGA	1600×1200	60	75.00	162.00
PowerBook G4	640×480	60	31.50	25.17
PowerBook G4	640×480	66.6 (67)	35.00	30.24
PowerBook G4	800×600	60	37.88	40.00
PowerBook G4	1024×768	60	48.36	65.00
PowerBook G4	1152×870	75	68.68	100.00
PowerBook G4	1280×960	75	75.20	126.00
i Mac (G3)	1024×768	75	60.30	80.00

A. コンピューター入力

(2) RGBアナログーワイド信号				
モード	解像度	垂直周波数/リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (kHz)	クロック (MHz)
WXGA	1280×768	60	47.78	79.50
	1280×768	75	60.29	102.25
	1280×768	85	68.63	117.50
	1280×720	60	44.80	74.25
	1280×800	60	49.60	83.50
	1440×900	60	55.90	106.50
	1680×1050	60	65.30	146.25
	1366×768	60	47.74	85.50
	1920×1080 - RB	60	66.60	138.50
	1024×600	60	37.30	50.40
(3) コンポーネント信号				
480i	720×480	59.94 (29.97)	27.00	—
480p	720×480	59.94	31.47	—
576i	720×576	50 (25)	27.00	—
576p	720×576	50	31.25	—
720p	1280×720	60	45.00	—
720p	1280×720	50	37.50	—
1080i	1920×1080	60 (30)	33.75	—
1080i	1920×1080	50 (25)	33.75	—
1080p	1920×1080	60	67.50	—
1080p	1920×1080	50	56.25	—

B. HDMI

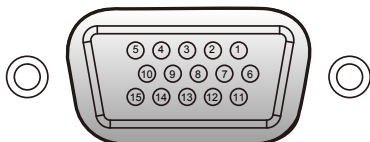
(1) HDMI—PC信号				
モード	解像度	垂直周波数/リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (kHz)	クロック (MHz)
VGA	640×480	60	31.47	25.18
	640×480	72	37.86	31.50
	640×480	75	37.50	31.50
	640×480	85	43.27	36.00
	640×480	119.51	61.61	—
	800×600	56	35.20	36.00
SVGA	800×600	60	37.88	40.00
	800×600	72	48.08	50.00
	800×600	75	46.88	49.50
	800×600	85	53.67	56.25
	800×600	119.85	77.20	—
XGA	1024×768	60	48.36	65.00
	1024×768	70	56.48	75.00
	1024×768	75	60.02	78.75
	1024×768	119.804	98.80	—

B. HDMI

(1) HDMI—PC信号				
モード	解像度	垂直周波数/リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (kHz)	クロック (MHz)
SXGA	1152×864	75	67.50	108.00
	1152×864	85	77.10	121.50
	1280×1024	60	63.98	108.00
	1280×1024	72	77.90	134.60
	1280×1024	75	79.98	135.00
	1280×1024	85	91.15	157.50
QuadVGA	1280×960	75	75.00	126.00
PowerBook G4	640×480	60	31.50	25.17
PowerBook G4	640×480	66.6 (67)	35.00	30.24
PowerBook G4	800×600	60	37.88	40.00
PowerBook G4	1024×768	60	48.36	65.00
PowerBook G4	1152×870	75	68.68	100.00
PowerBook G4	1280×960	75	75.20	126.00
i Mac (G3)	1024×768	75	60.30	80.00
(2) HDMI—ワイド信号				
WXGA	1280×768	60	47.78	79.50
	1280×768	75	60.29	102.25
	1280×768	85	68.63	117.50
	1280×720	60	44.80	74.25
	1280×800	60	49.60	83.50
	1440×900	60	55.90	106.50
	1680×1050	60	65.30	146.25
	1366×768	60	47.74	85.50
	1920×1080 - RB	60	66.60	138.50
	1920×1080 - EIA	60	66.60	148.50
	1024×600	60	37.30	50.40
(3) HDMI—ビデオ系信号				
480i	720×480 (1440×480)	59.94 (29.97)	27.00	—
480p	720×480	59.94	31.47	—
576i	720×576 (1440×576)	50 (25)	27.00	—
576p	720×576	50	31.25	—
720p	1280×720	60	45.00	—
720p	1280×720	50	37.50	—
1080i	1920×1080	60 (30)	33.75	—
1080i	1920×1080	50 (25)	33.75	—
1080p	1920×1080	60	67.50	—
1080p	1920×1080	50	56.25	—
1080p	1920×1080	24/23.98	27.00	—

端子の形態

端子：アナログRGB（ミニDサブ15ピン）



1	赤 (R/Cr) 入力/R出力	9	DDC 5V/NC
2	緑 (G/Y) 入力/G出力	10	グラウンド (垂直同期)
3	青 (B/Cb) 入力/B出力	11	ICPダウンロード
4	ICPダウンロード/NC	12	DDCデータ/NC
5	グラウンド (水平同期)	13	水平同期入力/出力 (水平/垂直複合同期)
6	グラウンド (赤)		
7	グラウンド (緑)	14	垂直同期入力/出力
8	グラウンド (青)	15	DDCクロック/NC

仕様

■ 一般仕様一覧

項目	仕様	
消費電力	225W (エコモード) / 280W (標準モード)	
質量	2.5Kg	
寸法 (幅×高さ×奥行)	286 × 100 × 208mm (突起部を含む)	
動作/保管環境	動作温度: 5~35℃ 湿度: 20~80% (結露なし) 保管温度: -20~60℃ 湿度: 20~80% (結露なし)	
投写システム	IPSiO PJ X2130: シングルチップ 0.55 型 DLP® IPSiO PJ WX2130: シングルチップ 0.65 型 DLP®	
解像度	IPSiO PJ X2130: 1024 × 768 画素 (XGA) IPSiO PJ WX2130: 1280 × 800 画素 (WXGA)	
レンズ	IPSiO PJ X2130: F#2.41~2.55, f=21.79~23.99mm, 1.1×ズームレンズ IPSiO PJ WX2130: F#2.50~2.67, f=21.86~24mm, 1.1×ズームレンズ	
ランプ	高圧水銀ランプ (200W)	
ランプ寿命	標準 3000 時間 (標準モード) 標準 4000 時間 (エコモード)	
投写画面サイズ	30~300 型	
投写距離	IPSiO PJ X2130: 1.2~13.1m (フォーカス範囲) IPSiO PJ WX2130: 1.0~11.0m (フォーカス範囲)	
スピーカー	2W モノラル	
接続端子	コンピューター入力端子	ミニ D サブ 15 ピン RGB/Y/P _B /P _R (兼用)
	モニター出力端子	ミニ D サブ 15 ピン RGB
	HDMI 端子	HDMI TypeA コネクター
	S-ビデオ入力端子	ミニ DIN4 ピン
	ビデオ入力端子	RCA ピンジャック
	音声入力端子	コンピューター入力/ビデオ/S-ビデオ用直径 3.5mm ミニジャック (兼用)

補足

- ・本機は上記仕様に準拠しています。
- ・設計、仕様などは予告なく変更することがあります。
- ・本機は新しく追加された機能および/または仕様に対応しないことがあります。

■ 別売品

PJ 交換用ランプ Type2

商標

- DLPはテキサス・インスツルメンツの登録商標です。DLP Linkはテキサス・インスツルメンツの商標です。
- IBMは、米国 International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Macintosh、Mac OS X、iMac、およびPowerBookは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
- Microsoft[®]、Windows[®]、Windows Vista[®]、Internet Explorer[®]、PowerPoint[®]は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
 - Windows XP の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft[®] Windows[®] XP Professional Edition
 - Microsoft[®] Windows[®] XP Home Edition
 - Microsoft[®] Windows[®] XP Media Center Edition
 - Microsoft[®] Windows[®] XP Tablet PC Edition
 - Microsoft[®] Windows[®] XP Professional x64 Edition
 - Windows Vista の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft[®] Windows Vista[®] Ultimate
 - Microsoft[®] Windows Vista[®] Business
 - Microsoft[®] Windows Vista[®] Home Premium
 - Microsoft[®] Windows Vista[®] Home Basic
 - Microsoft[®] Windows Vista[®] Enterprise
 - Windows 7 の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft[®] Windows[®] 7 Home Premium
 - Microsoft[®] Windows[®] 7 Professional
 - Microsoft[®] Windows[®] 7 Ultimate
 - Microsoft[®] Windows[®] 7 Enterprise
- その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

株式会社リコー

東京都中央区銀座8-13-1 リコービル 〒104-8222

<http://www.ricoh.co.jp/>

消耗品に関するお問い合わせ

弊社製品に関する消耗品は、お買い上げの販売店にご注文ください。

<http://www.ricoh.co.jp/office/supply/index.html>

故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、販売店にお問い合わせください。
修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。

転居の際は、販売店にご連絡ください。転居先の最寄りの販売店をご紹介します。

<http://www.ricoh.co.jp/support/repair/index.html>

操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、「お客様相談センター（ご購入後のお客様専用ダイヤル）」にお問い合わせください。

050-3786-6777

上記番号をご利用いただけない方は、03-4330-0925をご利用ください。

- 受付時間：平日（月～金）9時～12時、13時～17時（土日、祝祭日、弊社休業日を除く）
- 050ビジネスダイヤルは、一部のIP電話を除き、通話料はご利用者負担となります。
- お問い合わせの際に機番を確認させていただく場合があります。

※お問い合わせの内容は対応状況の確認と対応品質向上のため、通話を録音・記録させていただいております。

※受付時間を含め、記載のサービス内容は予告なく変更になる場合があります。

あらかじめご了承ください。

<http://www.ricoh.co.jp/SOUDAN/index.html>

保守サービスのために必要な補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は、本製品の製造中止後、7年間です。したがって、本期間以後は修理をお引き受けできない場合があります。

